



2024年5月20日

各位

会社名 クオンタムソリューションズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 マーク ピンク
(コード番号 2338 東証スタンダード)
問合せ先 経営企画室 富田 剛司
TEL 03-6910-0571 (代表)

「2024年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の補足追加説明等について

当社では、2024年4月15日付開示資料「2024年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、2025年2月期の通期連結業績見通しとして、売上高1,421百万円、営業利益12百万円、経常利益10百万円、親会社株主に帰属する当期純利益10百万円を見込んでいる旨をお知らせしておりました。

今般、当社の2025年2月期の通期連結業績見通しとともに、「2024年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の添付資料2頁目の「1. 経営成績等の概況」「(1) 当期の経営成績の概況」の記載内容について、それぞれ、以下のとおり、補足で追加説明いたします。

記

1. 2023年11月9日付開示資料でお知らせしたGPUサーバー販売及び2024年3月18日付開示資料でお知らせしたGPUカード販売の当該2つの取引の売上計上時期の変更に関する補足追加説明

2023年11月9日付開示資料「当社が取り扱うNVIDIA製GPU搭載サーバーの販売に関するお知らせ」にてお知らせした国内に所在するデータセンターIT機器等を取り扱う会社向けのGPUサーバー販売(純額扱いで42百万円。なお、2023年11月9日付開示資料「当社が取り扱うNVIDIA製GPU搭載サーバーの販売に関するお知らせ」の公表時点では純額扱いで34百万円であったものが為替変動により増加)及び2024年3月18日付開示資料「当社が取り扱うGPUカードの販売に関するお知らせ」にてお知らせしたSMS配信事業を提供する国内企業向けのGPUカード販売(純額扱いで売上高12百万円)の2つの取引については、2024年4月15日付開示資料「営業外収益(為替差益及び、個別財務諸表の貸倒引当戻入額)の計上、特別損失(投資有価証券評価損)の計上、及び通期連結業績の予想値と実績値の差異についてのお知らせ」の4.(2)連結業績差異の理由において簡単に言及しておりますが、今般、その詳細を補足で追加説明いたします。

下表にも示しております当該2つの取引については、販売代金の回収と商品の納品・検収時期は2024年2月期となりますが、仕入代金の支払いが2025年2月期となったことから、監査法人と慎重に協議した結果、当該取引が完全に終了した2025年2月期に実績として計上することとしました。

適時開示 公表日	販売先 概要	取扱高	売上高 (純額扱)	代金回収 完了時期	検収時期	仕入支払 完了時期	当初取引 計上期	修正後取引 計上時期
2023/11/9	データセン ターIT 機器 販売会社	450 百万円	42 百万円	2024 年 1 月	2024 年 1 月	2024 年 4 月	2024 年 2 月期	2025 年 2 月期
2024/3/18	SMS 配信 事業会社	76 百万円	12 百万円	2023 年 11 月	2023 年 11 月	2024 年 3 月	2024 年 2 月期	2025 年 2 月期
—	合計	526 百万円						

2. 2024 年 2 月期において売上計上予定であった子会社 2 社の取引に関する補足説明

2024 年 4 月 15 日付開示資料「営業外収益（為替差益及び、個別財務諸表の貸倒引当戻入額）の計上、特別損失（投資有価証券評価損）の計上、及び通期連結業績の予想値と実績値の差異についてのお知らせ」の 4.

(2) 連結業績差異の理由において、2024 年 2 月期通期連結業績の売上高（実績値）が 2024 年 3 月 8 日付開示資料「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した予想売上高 360 百万円から 155 百万円減額となった要因の説明として、子会社 2 社の売上代金回収がされていない取引に関して 2024 年 2 月期第 1 四半期に計上した売上を監査法人と協議したうえで取り消した旨を記載しておりました。

しかし、子会社 2 社の取引についていずれも計上した売上高の取消しを行っておりませんので、その説明を訂正するとともに、最終的に売上高を計上しなかった経緯等を補足説明いたします。

まず、子会社の FASTEPS SINGAPORE PTE LTD（以下「Fastep-S」）の取引は、当社が EV 販売事業の運営管理業務を Fastep-S に委託する契約に基づいた親子間取引であり、2024 年 2 月期において売上計上額として 2024 年 2 月期における業務委託契約の合計金額である 88 百万円を見込んでおりました。

そして、この Fastep-S の 88 百万円の売上高は、2024 年 3 月 11 日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した 2024 年 2 月期の予想売上高 360 百万円に織り込んでおりました。

しかし、その後、2024 年 4 月初旬に、当社及び顧問税理士が、通期決算手続きの中で、Fastep-S の 88 百万円の売上高が親子取引であると認識し、親子取引に伴う連結消去対象としました。

ただし、当社では、2024 年 4 月 16 日付「営業外収益（為替差益及び、個別財務諸表の貸倒引当戻入額）の計上、特別損失（投資有価証券評価損）の計上、及び通期連結業績の予想値と実績値の差異についてのお知らせ」にて、売上高の下方修正を説明する上で、減少分の対象となるこの 88 百万円の連結消去による連結売上高の減少と後述の当社子会社の Quantum FOMM Limited（以下「Q-Fomm」）の売上計上見送りを連結売上高の減少という影響として一括りに説明しようとしたことから、当該 88 百万円の売上高については「親会社である当社との親子取引であったため、連結消去対象（連結収益はゼロ）としました」といった詳細な説明を行っていませんでした。

子会社の Q-Fomm の取引は、当社が合弁先である株式会社 FOMM との間で締結した EV 自動車の製造・販売委託契約に基づいた取引であり、2024 年 2 月期において売上計上額として 12 百万円を見込んでおりました。

そして、Q-Fomm の 12 百万円の売上高は、2024 年 3 月 11 日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した 2024 年 2 月期の予想売上高 360 百万円に織り込んでおりました。

しかし、EV 自動車の製造・販売委託契約に基づいた売上が株式会社 FOMM より通知されているにもかかわらず、株式会社 FOMM からの売上代金の回収が実現しなかったことから、当社は、監査法人と協議したうえで、

2024年4月初旬になって2024年2月期におけるQ-Fommの12百万円の売上高の計上を見送ることを決定しました。

なお、株式会社FOMMからは、第三者から追加出資を受ける可能性があることと追加出資を受けた場合その後に未払い金を支払う用意があることの説明を受けており、そのため、株式会社FOMMの営業状況をふまえてQ-Fommの12百万円の売上高を2025年2月期に計上するかどうかを判断してまいります。

3. 2025年2月期通期連結業績予想数値に関する補足追加説明

2025年2月期通期連結業績予想の売上高1,421百万円については、下表のとおりとなります。

なお、連結子会社のうち5社（株式会社ビットワン、株式会社クロスワン、コンパスクラウドA I ジャパン株式会社、FASTEPS SINGAPORE PTE LTD 及び Quantum FOMM Limited）については、連結消去されない売り上げは見込んでおりません。

会社名	売上高
クオンタムソリューションズ	1,233百万円
プロケアラボ	180百万円
Quantum solutions Asia Ltd	65百万円
AI AVATAR	14百万円
GPT Pals Studio Ltd.	15百万円
連結消去	△86百万円
合計	1,421百万円

このうち、当期2025年2月期において当社の主力事業となるGPUサーバー販売事業の売上計画は下表の通りとなります。

なお、監査法人と協議し、2025年2月期におけるGPUサーバー販売取引に関して、その売上高はすべて純額扱いで計上することといたします。

また、2025年2月期の上半期に取引確定分（ただし、一部、「契約・代金取引完了分」「契約完了分」「受注済分」「受注予定分」も含んでおります。）までで総売上計画の87%を確保する保守的な売り上げ予想としております。

ただし、売上計画No4のニュージーランド大手Net事業運営会社の売上高〔純額計上扱〕391百万円については、現在取引の完了に向けて最終協議中ですが、一部取引内容の変更を含むものであり、純額扱いにて計上する売上高が245百万円（本予算上では▲146百万円の減少）となりますが、取引内容変更に伴う販売手数料等の調整を協議中で、営業利益ベースでの利益は確定していないことから、本補足追加説明においては2025年2月期の通期連結業績予想数値の計数は変更しておりません。

同取引内容の変更内容が全て確定した時点で、2024年4月15日付開示資料「2024年2月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表した2025年2月期の通期連結業績予想数値の修正に関する適時開示を行う予定です。

No	売上計上取引区分（注※）	取引先概要	売上高〔純額計上扱〕	売上計上時期	累計売上高充足率
1	取引完了分	日系 SMS 大手配信会社	12 百万円	2024 年 3 月	1 %
2	取引完了分	日系 IT 機器販売会社	42 百万円	2024 年 4 月	4 %
3	契約・代金取引完了分	ニュージーランド大手 Net 事業運営会社	183 百万円	2024 年 5 月	19%
4	契約・代金取引完了分		391 百万円	2024 年 5 月	51%
5	契約完了分	シンガポール IT 機器販売会社	349 百万円	2024 年 5 月	80%
6	受注済分	日系データセンター事業会社①	42 百万円	2024 年 6 月	84%
7	受注確約分	日系データセンター事業会社②	38 百万円	2024 年 9 月	87%
8	受注予定分	中国系大手 Net 運営会社	44 百万円	2024 年 8 月	91%
9	未確定分	日系自動車メーカー	54 百万円	2024 年 11 月	95%
10	未確定分	GPU データセンター事業会社	54 百万円	2025 年 2 月	100%
	合計	—	1,209 百万円	—	100%

※ 売上計上取引区分

取引完了分 … GPU サーバー販売に関し、契約・仕入代金支払・納品検収・販売代金受領の全てが完了している取引

契約・代金取引完了分 … GPU サーバー販売に関し、契約及び仕入代金支払と販売代金回収は完了しているが、納品と検収が未了である取引

契約完了分 … GPU サーバー販売に関し、契約の締結は完了しているものの、仕入代金支払、納品・検収、販売代金回収が未了の取引

受注済分 … GPU サーバー販売に関し、発注書を受領済であるものの契約書は未締結である取引

受注確約分 … GPU サーバー販売に関し、文書やメール等で取引先から取引量等を明確にししながら発注予定の意思の表明を受けている取引

受注予定分 … GPU サーバー販売に関し、文書、メール、口頭等で取引先から発注予定の意思の表明を受けているものの取引量等が確定していない取引

未確定分 … GPU サーバー販売に関し、取引先より口頭にて引合いはあるものの取引製品・取引量等が明確ではない案件

次に、当社グループ事業の二番目の柱であるアイラッシュケア事業に関しては、以下の通り、業界環境を踏まえ、前期 2024 年 2 月期に規模の最適化を図ったことから、今期は同事業の黒字転換を図る期となります。

売上計画は下表の通りとなります。

区分	前期実績	当期計画	前期比
店舗 A	45 百万円	69 百万円	+24 百万円
店舗 B	54 百万円	59 百万円	+5 百万円
店舗 C	34 百万円	—	△34 百万円
商材販売/国内	39 百万円	45 百万円	+6 百万円
商材販売/海外	3 百万円	3 百万円	±0
その他	5 百万円	5 百万円	±0
合計	179 百万円	180 百万円	+1 百万円

ゲーム開発事業に関しては、2024年1月31日付開示資料「(開示事項の経過) JP GAMES 株式会社との業務提携に関するお知らせ」並びに3月26日付開示資料「(開示事項の経過) JP GAMES 株式会社との業務提携に関するお知らせ」でお知らせしております通り、デモ機が開発途上の段階にあります。

本プロジェクトは、将来的に当社事業の根幹を為すプロジェクトにつき、別途プロジェクト内容が固まり次第、同プロジェクトを織り込んだ修正計画を立案の上開示いたします。

なお、本事業は、当期2025年2月期中は開発途上となるため、現時点では売上計上を見込んでおりません。

その他事業に関しては、子会社のAI AVATAR 株式会社は、2024年3月22日付開示資料「(開示事項の経過) 2023年1月31日付合弁会社設立に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、合弁会社設立日及び事業開始を2024年5月末に延期しておりますが、当期14百万円の売上を計画しており、ソーシャルメディアと当社のネットワークからの紹介を使用してビジネスを推進し、2025年2月期第2四半期に売上計上開始予定であります。

事業計画の詳細が固まり次第、開示して参ります。

また、子会社GPT Pals Studio Limitedにつきましても、15百万円の売上を計画しておりますが、販売先は未定であるものの、ソーシャルメディアと当社のネットワークからの紹介を活用してビジネスを推進し、2025年2月期第3四半期に売上計上開始予定であります。

事業計画の詳細が固まり次第、開示して参ります。

以 上